

MICE機能、コングレが運営

JR大阪駅北側の再開発エリア「うめきた2期」について、開発主体の三菱地所などは21日、国際会議場などのMICE機能を国際会議運営大手、コングレ（大阪市）が担うと発表した。ラスイート（同）が関西最大級となる都市型スパも出店する。同日、公式ホームページも公開した。

MICEは2期南側の街区にできるビル内に、約800平方メートルの大ホールと中小の会議室を備える施設を整備。収容人数や内装などは今後詰める。コングレは2013年に開業した1期開発のグラフロント大阪内にある、国内外の産学官関係者が集まる交流拠点「ナレッジキャピタル」のコンベンションセンターを運営している。「MICEの受け皿が増えることで、より大きな国際会議が誘致できる」（同社）。